



## 2023年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年5月15日  
上場取引所 東

上場会社名 高砂香料工業株式会社  
 コード番号 4914 URL <https://www.takasago.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 榊村 聡  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 木林 孝之 (TEL) 03-5744-0523  
 定時株主総会開催予定日 2023年6月28日 配当支払開始予定日 2023年6月29日  
 有価証券報告書提出予定日 2023年6月28日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期の連結業績 (2022年4月1日～2023年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	186,792	15.0	5,947	△32.5	7,958	△21.7	7,393	△17.0
2022年3月期	162,440	8.0	8,812	40.1	10,165	39.6	8,909	24.5

(注) 包括利益 2023年3月期 13,688百万円 ( 36.8%) 2022年3月期 10,004百万円 ( 27.2%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年3月期	376.59	—	6.5	3.9	3.2
2022年3月期	453.94	—	8.5	5.3	5.4

(参考) 持分法投資損益 2023年3月期 39百万円 2022年3月期 △94百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	212,079	121,953	56.7	6,178.67
2022年3月期	196,841	110,294	55.2	5,531.65

(参考) 自己資本 2023年3月期 120,211百万円 2022年3月期 108,610百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	5,821	△3,276	△2,039	14,969
2022年3月期	11,568	△7,258	△2,364	13,576

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年3月期	—	25.00	—	45.00	70.00	1,374	15.4	1.3
2023年3月期	—	25.00	—	45.00	70.00	1,366	18.6	1.2
2024年3月期(予想)	—	25.00	—	30.00	55.00	—	—	—

### 3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	200,000	7.1	4,000	△32.7	4,300	△46.0	3,700	△50.0	188.47

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2023年3月期	20,152,397株	2022年3月期	20,152,397株
2023年3月期	696,583株	2022年3月期	518,033株
2023年3月期	19,632,205株	2022年3月期	19,627,473株

(参考) 個別業績の概要

2023年3月期の個別業績（2022年4月1日～2023年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	71,583	7.1	1,697	△46.7	5,476	△7.3	5,068	△5.0
2022年3月期	66,809	10.6	3,184	—	5,907	179.5	5,337	91.1

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期	258.16	—
2022年3月期	271.94	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2023年3月期	139,375		73,884		53.0	3,797.54		
2022年3月期	136,267		70,454		51.7	3,588.33		

(参考) 自己資本 2023年3月期 73,884百万円 2022年3月期 70,454百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

当社では、2023年5月22日（月）に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	2
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(セグメント情報) .....	12
(1株当たり情報) .....	14
(重要な後発事象) .....	14
4. その他 .....	15

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、ウクライナ情勢などを発端とする資源高や供給制約の影響を受けつつも、新型コロナウイルス感染症抑制と経済活動の両立が進む中で、緩やかな持ち直しの動きが見られました。世界経済につきましては、足元でペースが鈍化しているものの、国・地域ごとにばらつきを伴いつつ、総じてみれば回復に向かいました。

香料業界においても、世界経済の動向に合わせる形で、全体としては回復基調で推移しました。

このような中、当社グループは「人にやさしく、環境にやさしく」をスローガンとする『Vision 2040』のもと、中期経営計画『New Global Plan-1【NGP-1】』（2021-2023年度）を推進してまいりました。

当連結会計年度の売上高は、前期比15.0%増の186,792百万円となりました。部門別売上高では、フレーバー部門は、当社及びシンガポール子会社において飲料向け等が好調に推移した他、為替変動の影響を受け、前期比11.9%増の105,551百万円、フレグランス部門は、フランス子会社において香粧品向け等が好調に推移した他、為替変動の影響を受け、前期比16.3%増の56,393百万円、アロマイングリディエーツ部門は、スペシャリティ品等が好調に推移した他、為替変動の影響を受け、前期比4.9%増の11,910百万円、ファインケミカル部門は、医薬品中間体が伸長し、前期比67.8%増の11,510百万円となりました。その他不動産部門は、前期比1.4%減の1,426百万円となりました。

利益面では、国内外において主力製品及び新規品の拡販に注力した他、原材料価格等の高騰に対する取組みとして価格転嫁等を進めてまいりましたが、営業利益は前期比32.5%減の5,947百万円、経常利益は前期比21.7%減の7,958百万円となりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比17.0%減の7,393百万円となりました。

セグメントにつきましては、日本は、当社のフレーバー部門及びファインケミカル部門が堅調に推移したことにより、売上高は71,514百万円（前期比5.9%増）となったものの、原料高騰の影響等もあり、営業利益は2,280百万円（前期比39.2%減）となりました。米州は、米国子会社において新規品の拡販など積極的な営業展開を図ったことにより、ファインケミカル部門等が好調に推移した他、為替変動の影響を受け、売上高は46,929百万円（前期比22.3%増）となったものの、米国子会社において原料高騰の影響等もあり、営業利益は674百万円（前期比71.4%減）となりました。欧州は、フランス子会社において香粧品向け等の拡販に注力したことにより、売上高は31,904百万円（前期比13.2%増）となったものの、エネルギーコスト増等の影響を受け、営業利益は821百万円（前期比3.7%減）となりました。アジアは、シンガポール子会社等において、既存取引先等への取引拡大に取り組んだ他、為替変動の影響を受け、売上高は36,444百万円（前期比28.5%増）となったものの、原料高騰の影響等もあり、営業利益は2,264百万円（前期比2.0%減）となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

総資産は、前連結会計年度末と比較して15,237百万円増加し、212,079百万円となりました。主なものは、原材料及び貯蔵品の増加6,515百万円、売掛金の増加3,637百万円であります。

負債は、前連結会計年度末と比較して3,579百万円増加し、90,125百万円となりました。主なものは、短期借入金金の増加3,884百万円であります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して11,658百万円増加し、121,953百万円となりました。主なものは、利益剰余金の増加6,018百万円、為替換算調整勘定の増加5,991百万円であります。

以上により、自己資本比率は55.2%から56.7%に増加いたしました。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末より1,392百万円増加し、14,969百万円となりました。

営業活動による資金の増加は、5,821百万円となりました。主なものは、棚卸資産の増加3,597百万円であった一方、税金等調整前当期純利益8,556百万円、減価償却費7,378百万円であります。

投資活動による資金の流出は、3,276百万円となりました。主なものは、有形固定資産の取得による支出5,014百万円であります。

財務活動による資金の流出は、2,039百万円となりました。主なものは、長期借入金による収入5,230百万円、短期借入金の増加3,424百万円であった一方、長期借入金の返済による支出8,124百万円、配当金の支払額1,372百万円であります。

#### (4) 今後の見通し

今後の内外経済の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の経済活動への影響は和らぐものの、今後のウクライナ情勢の展開や資源価格の動向、世界的な金融引き締め等を背景とした各国経済の下振れ懸念などもあり、依然として不確実性が極めて高い状況が続くものと思われま

す。香料業界においては、競合他社との競争環境は厳しい状況が続いておりますが、市場としては、中国や東南アジアでの成長が引き続き期待できる一方、成熟市場である欧米でも底堅い成長が見込まれます。ただし、原材料及びエネルギー価格の高騰、サプライチェーンの混乱等の影響を受け、利益面では厳しい環境となることが想定されます。

このような中、当社グループは「人にやさしく、環境にやさしく」をスローガンとする『Vision 2040』のもと、中期経営計画『New Global Plan-1【NGP-1】』（2021-2023年度）に沿って事業を推進してまいります。

2024年3月期の連結業績予想は、売上高200,000百万円（前期比7.1%増）、営業利益4,000百万円（前期比32.7%減）、経常利益4,300百万円（前期比46.0%減）、親会社株主に帰属する当期純利益3,700百万円（前期比50.0%減）としております。

なお、上記の連結業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、今後様々な要因によって予想と異なる可能性があります。修正が必要となりました場合には速やかにお知らせいたします。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性を考慮し、当面は日本基準を採用することとしておりますが、今後の外国人株主比率の推移及び国内他社のIFRS（国際財務報告基準）採用動向を踏まえつつ、IFRS適用の検討をすすめていく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	16,146	14,969
受取手形	2,876	3,023
売掛金	35,364	39,002
商品及び製品	31,560	31,234
仕掛品	129	130
原材料及び貯蔵品	17,715	24,231
その他	3,304	4,786
貸倒引当金	△211	△274
流動資産合計	106,886	117,103
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	75,880	80,067
減価償却累計額	△44,353	△48,254
建物及び構築物(純額)	31,526	31,812
機械装置及び運搬具	66,501	69,281
減価償却累計額	△54,099	△57,727
機械装置及び運搬具(純額)	12,402	11,553
工具、器具及び備品	15,442	16,614
減価償却累計額	△12,404	△13,420
工具、器具及び備品(純額)	3,037	3,194
土地	8,096	8,333
建設仮勘定	3,223	4,013
その他	1,437	2,516
減価償却累計額	△724	△440
その他(純額)	713	2,076
有形固定資産合計	58,999	60,984
無形固定資産		
投資その他の資産	2,865	3,988
投資有価証券	22,879	23,397
出資金	106	101
長期貸付金	584	629
退職給付に係る資産	1,181	1,009
繰延税金資産	2,229	3,243
その他	1,570	2,110
貸倒引当金	△461	△488
投資その他の資産合計	28,089	30,003
固定資産合計	89,954	94,975
資産合計	196,841	212,079

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,173	17,878
短期借入金	18,481	22,365
1年内返済予定の長期借入金	7,954	7,449
1年内償還予定の社債	200	—
未払法人税等	1,558	1,045
賞与引当金	1,962	2,030
役員賞与引当金	68	46
その他	9,710	10,378
流動負債合計	57,109	61,195
固定負債		
長期借入金	16,919	14,970
繰延税金負債	1,401	1,181
役員退職慰労引当金	17	22
退職給付に係る負債	9,633	9,887
その他	1,464	2,869
固定負債合計	29,437	28,930
負債合計	86,546	90,125
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,248	9,248
資本剰余金	8,383	8,384
利益剰余金	82,760	88,778
自己株式	△1,244	△1,711
株主資本合計	99,147	104,700
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,219	10,372
繰延ヘッジ損益	—	1
為替換算調整勘定	△285	5,705
退職給付に係る調整累計額	△470	△569
その他の包括利益累計額合計	9,463	15,510
非支配株主持分	1,684	1,742
純資産合計	110,294	121,953
負債純資産合計	196,841	212,079

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高	162,440	186,792
売上原価	111,311	132,355
売上総利益	51,128	54,436
販売費及び一般管理費	42,316	48,489
営業利益	8,812	5,947
営業外収益		
受取利息	75	99
受取配当金	425	507
持分法による投資利益	—	39
為替差益	844	1,425
その他	740	561
営業外収益合計	2,085	2,632
営業外費用		
支払利息	480	470
持分法による投資損失	94	—
その他	157	151
営業外費用合計	731	621
経常利益	10,165	7,958
特別利益		
固定資産売却益	15	11
投資有価証券売却益	1,203	651
助成金収入	37	531
受取保険金	1	—
特別利益合計	1,257	1,194
特別損失		
固定資産処分損	377	65
固定資産圧縮損	38	531
投資有価証券評価損	5	—
特別損失合計	420	596
税金等調整前当期純利益	11,002	8,556
法人税、住民税及び事業税	2,090	2,002
法人税等調整額	△199	△990
法人税等合計	1,891	1,011
当期純利益	9,111	7,545
非支配株主に帰属する当期純利益	201	151
親会社株主に帰属する当期純利益	8,909	7,393



## 連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
当期純利益	9,111	7,545
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,419	152
繰延ヘッジ損益	△0	1
為替換算調整勘定	3,975	5,795
退職給付に係る調整額	125	△103
持分法適用会社に対する持分相当額	211	296
その他の包括利益合計	892	6,143
包括利益	10,004	13,688
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	9,609	13,440
非支配株主に係る包括利益	394	247

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	9,248	8,378	74,886	△1,300	91,213
会計方針の変更による累積的影響額			43		43
会計方針の変更を反映した当期首残高	9,248	8,378	74,930	△1,300	91,257
当期変動額					
剰余金の配当			△1,079		△1,079
親会社株主に帰属する当期純利益			8,909		8,909
自己株式の取得				△2	△2
自己株式の処分		4		57	61
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	4	7,830	55	7,889
当期末残高	9,248	8,383	82,760	△1,244	99,147

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整 勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計		
当期首残高	13,638	0	△4,279	△596	8,763	1,371	101,349
会計方針の変更による累積的影響額							43
会計方針の変更を反映した当期首残高	13,638	0	△4,279	△596	8,763	1,371	101,393
当期変動額							
剰余金の配当							△1,079
親会社株主に帰属する当期純利益							8,909
自己株式の取得							△2
自己株式の処分							61
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△3,419	△0	3,993	125	699	312	1,011
当期変動額合計	△3,419	△0	3,993	125	699	312	8,901
当期末残高	10,219	—	△285	△470	9,463	1,684	110,294

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	9,248	8,383	82,760	△1,244	99,147
会計方針の変更による累積的影響額					—
会計方針の変更を反映した当期首残高	9,248	8,383	82,760	△1,244	99,147
当期変動額					
剰余金の配当			△1,374		△1,374
親会社株主に帰属する当期純利益			7,393		7,393
自己株式の取得				△533	△533
自己株式の処分		1		66	67
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	1	6,018	△466	5,553
当期末残高	9,248	8,384	88,778	△1,711	104,700

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整 勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計		
当期首残高	10,219	—	△285	△470	9,463	1,684	110,294
会計方針の変更による累積的影響額							—
会計方針の変更を反映した当期首残高	10,219	—	△285	△470	9,463	1,684	110,294
当期変動額							
剰余金の配当							△1,374
親会社株主に帰属する当期純利益							7,393
自己株式の取得							△533
自己株式の処分							67
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	152	1	5,991	△98	6,047	58	6,105
当期変動額合計	152	1	5,991	△98	6,047	58	11,658
当期末残高	10,372	1	5,705	△569	15,510	1,742	121,953

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	11,002	8,556
減価償却費	6,912	7,378
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	50	38
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	295	290
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△89	△97
受取利息及び受取配当金	△500	△606
支払利息	480	470
投資有価証券売却損益 (△は益)	△1,203	△651
固定資産処分損益 (△は益)	362	53
投資有価証券評価損益 (△は益)	5	—
助成金収入	△37	△531
受取保険金	△1	—
固定資産圧縮損	38	531
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,032	△1,066
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△5,322	△3,597
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,077	△891
その他	907	△1,898
小計	12,944	7,978
利息及び配当金の受取額	579	701
利息の支払額	△468	△444
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△1,735	△2,735
助成金の受取額	246	322
保険金の受取額	1	—
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>11,568</b>	<b>5,821</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△6,764	△5,014
有形固定資産の売却による収入	21	15
無形固定資産の取得による支出	△1,287	△1,396
投資有価証券の取得による支出	△21	△21
投資有価証券の売却による収入	1,313	725
貸付けによる支出	△77	△309
貸付金の回収による収入	2,173	—
定期預金の増減額 (△は増加)	△2,514	2,845
その他	△102	△119
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△7,258</b>	<b>△3,276</b>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△767	3,424
長期借入れによる収入	5,900	5,230
長期借入金の返済による支出	△5,811	△8,124
社債の償還による支出	△200	△200
自己株式の取得による支出	△2	△533
配当金の支払額	△1,079	△1,372
非支配株主への配当金の支払額	△82	△189
その他	△320	△274
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,364	△2,039
現金及び現金同等物に係る換算差額	752	886
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,697	1,392
現金及び現金同等物の期首残高	10,879	13,576
現金及び現金同等物の期末残高	13,576	14,969

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

## 1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、主に香料を製造・販売しており、提出会社、国内子会社、在外子会社はそれぞれ独立した経営単位であり、取り扱う製品について各会社において戦略を立案し、事業活動を展開しております。

各会社を報告セグメントとした場合、非常に多数の報告セグメントが開示されることとなるため、経済的特徴や製品及びサービスの内容等を鑑み、当社は、地域別に「日本」「米州」「欧州」及び「アジア」の4つを報告セグメントとしております。各報告セグメントでは、香料事業の製造・販売を主な事業内容として、さらに各事業に関連する研究及び不動産賃貸、その他の活動を展開しております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されているセグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

## 3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報並びに収益の分解情報

前連結会計年度(自2021年4月1日至2022年3月31日)

(単位:百万円)

	日本	米州	欧州	アジア	計	調整額 (注)1	連結財務諸 表計上額 (注)2
売上高							
香料事業(注)3	66,086	38,365	28,177	28,364	160,993	—	160,993
顧客との契約から生じる収益	66,086	38,365	28,177	28,364	160,993	—	160,993
その他の収益(注)4	1,446	—	—	—	1,446	—	1,446
外部顧客への売上高	67,532	38,365	28,177	28,364	162,440	—	162,440
セグメント間の内部売上高又は振替高	13,196	355	2,624	284	16,462	△16,462	—
計	80,729	38,721	30,802	28,649	178,902	△16,462	162,440
セグメント利益	3,752	2,359	853	2,311	9,276	△463	8,812
セグメント資産	122,899	25,967	29,706	34,674	213,247	△16,406	196,841
その他の項目							
減価償却費	3,854	673	1,314	1,068	6,912	—	6,912
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	6,122	404	828	611	7,967	—	7,967

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額△463百万円には、セグメント間取引に係る内部損益取引の調整額274百万円、セグメント間取引に係る棚卸資産の調整額△511百万円、及びその他△227百万円が含まれております。

(2) セグメント資産の調整額△16,406百万円には、セグメント間取引に係る内部取引の調整額△15,281百万円、セグメント間取引に係る棚卸資産の調整額△1,559百万円、及びその他434百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

3. 香料事業はフレーバー、フレグランス、アロマイングリディエント、ファインケミカルの製造・販売を主な事業内容としており、当該事業の売上高は主に一時点で顧客に移転される財から生じる収益で構成されております。

4. その他の収益は、その他不動産事業に係る賃貸収入等で構成されております。

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:百万円)

	日本	米州	欧州	アジア	計	調整額 (注) 1	連結財務諸 表計上額 (注) 2
売上高							
香料事業(注) 3	70,088	46,929	31,904	36,444	185,365	—	185,365
顧客との契約から生じる収益	70,088	46,929	31,904	36,444	185,365	—	185,365
その他の収益(注) 4	1,426	—	—	—	1,426	—	1,426
外部顧客への売上高	71,514	46,929	31,904	36,444	186,792	—	186,792
セグメント間の内部売上高又は振替高	14,364	468	3,242	292	18,368	△18,368	—
計	85,879	47,398	35,146	36,737	205,160	△18,368	186,792
セグメント利益	2,280	674	821	2,264	6,040	△93	5,947
セグメント資産	126,161	30,700	35,440	38,767	231,069	△18,990	212,079
その他の項目							
減価償却費	3,991	732	1,430	1,223	7,378	—	7,378
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	3,524	525	2,593	1,578	8,222	—	8,222

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△93百万円には、セグメント間取引に係る内部損益取引の調整額352百万円、セグメント間取引に係る棚卸資産の調整額△148百万円、及びその他△296百万円が含まれております。
  - (2) セグメント資産の調整額△18,990百万円には、セグメント間取引に係る内部取引の調整額△17,749百万円、セグメント間取引に係る棚卸資産の調整額△1,721百万円、及びその他480百万円が含まれております。
2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。
  3. 香料事業はフレーバー、フレグランス、アロマイングリディエーツ、ファインケミカルの製造・販売を主な事業内容としており、当該事業の売上高は主に一時点で顧客に移転される財から生じる収益で構成されております。
  4. その他の収益は、その他不動産事業に係る賃貸収入等で構成されております。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり純資産額	5,531円65銭	6,178円67銭
1株当たり当期純利益	453円94銭	376円59銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	8,909	7,393
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	8,909	7,393
普通株式の期中平均株式数 (千株)	19,627	19,632

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度末 (2022年3月31日)	当連結会計年度末 (2023年3月31日)
純資産の部の合計額 (百万円)	110,294	121,953
純資産の部の合計額から控除する金額 (百万円)	1,684	1,742
(うち非支配株主持分 (百万円))	(1,684)	(1,742)
普通株式に係る期末の純資産額 (百万円)	108,610	120,211
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数 (千株)	19,634	19,455

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。



#### 4. その他

##### 役員の変動

【取締役】 (2023年6月28日付予定)

(1) 新任

塚本 恵

(注) 新任取締役候補者 塚本恵氏は、会社法第2条第15号に定める「社外取締役」であります。

(2) 退任

藤原 久也 (現 取締役常務執行役員)

【執行役員】 (2023年6月28日付予定)

退任

常務執行役員 藤原 久也